



目次

I 在宅緩和ケアとは何か

1、在宅緩和ケアの必要性・・・爽秋会 理事長 岡部 健

2、チームで支え、患者一介護・医療サービスをつなぐ

・・・爽秋会 MSW 成田

憲史

3、患者の思いと医療者の役割

・・・爽秋会 臨床心理士・チャプレン 大村

哲夫

4、地域で生き、地域で最期を迎える・・・爽秋会 研究員 相澤 出

5、在宅緩和ケアの薬剤・・・爽秋会 医師 河原 正典

II 薬剤師の関わり方——在宅緩和ケアと薬剤治療サポート——

・・・うえまつ調剤薬局 薬剤師 轡

基治

1、薬剤師と保険薬局の役割を知る

2、在宅緩和ケアにおける薬物治療と服薬支援の考え方

3、死の生理を理解する

長年、チームケアを共に手がけ協力してきた爽秋会とうえまつ調剤薬局さんとが執筆陣となった、在宅緩和ケア入門です。これまでのケアの実践、そこから得られた経験・知見にもとづいた、現場からおくる在宅緩和ケア入門となっています。

薬ゼミブックレット No.4

緩和医療・ケア入門

編集：医療法人社団爽秋会 理事長 岡部 健

発行所：株式会社薬ゼミ情報教育センター

発行日：2009年10月28日

A5判 77頁 2色刷

定価：1,575円（本体1,500円）